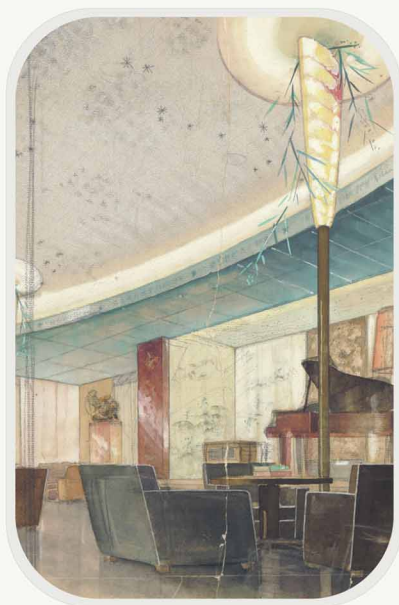


BRASIL MARU
designed by Togo Murano



ARGENTINA MARU
designed by Togo Murano



IZUMO MARU
designed by Seigo Motono

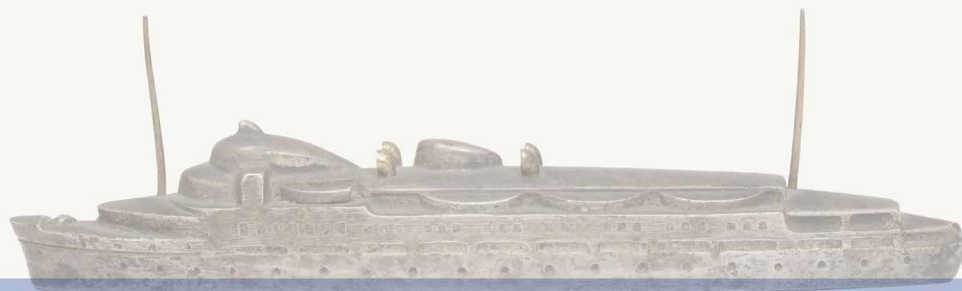


海をゆく建築

村野藤吾と本野精吾の船室デザイン

Architecture Going the Sea

— Cabin Design by Togo Murano and Seigo Motono



TACHIBANA MARU
designed by Seigo Motono

2025年6月2日(月) - 7月12日(土)

Monday, 2nd June - Saturday, 12th July, 2025

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：日曜日

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

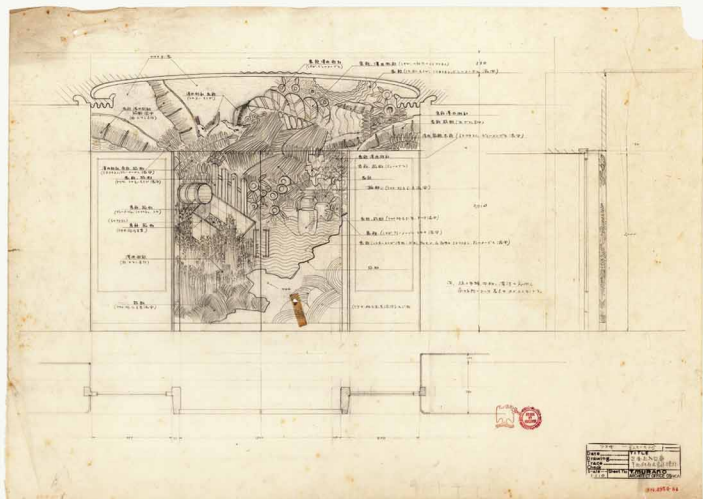
*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳
をお持ちの方及び付添の方1名は無料（入館の際は、手帳の提示をお願いします）

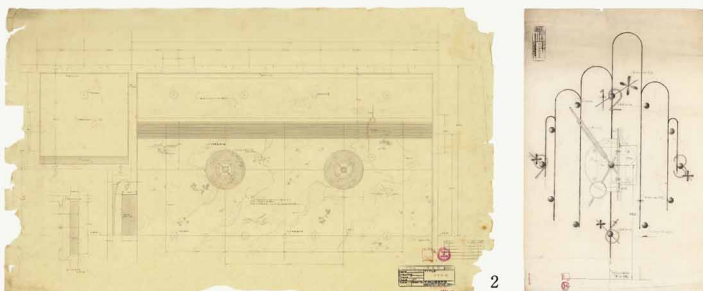
京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

ARGENTINA MARU designed by Togo Murano



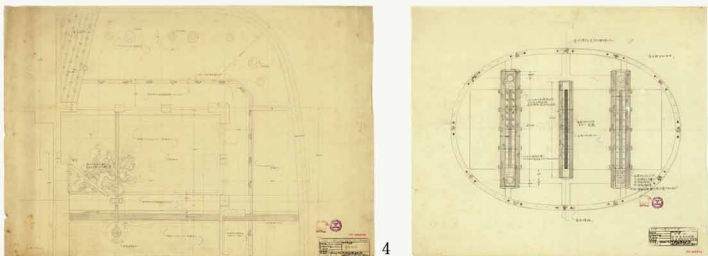
1



2

3

BRASIL MARU designed by Togo Murano



4

5

TACHIBANA MARU designed by Seigo Motono



6



7

IZUMO MARU designed by Seigo Motono



8

かつて、船は各国の科学技術や芸術文化の象徴として、世界中の多くの建築家の注目を集めました。たとえば近代建築の巨匠ル・コルビュジエ (Le Corbusier 1887-1965) は、代表的著作である“VERS UNE ARCHITECTURE” [建築をめざして] (1923) の中で「商船」という章を設け、船を新しい建築の実現への第一歩として掲げています。また、彼の代表作のひとつである「マルセイユのユニテ・ダビタシオン」(1952年竣工) は船をイメージしてデザインされたとも言われています。ル・コルビュジエは生涯をとおり、船に強い興味と憧れを抱いていました。

ル・コルビュジエが船について記した同じ頃、1920～30年代の日本において、船は国力を示す存在と考えられていました。とりわけ海外と日本を結ぶ豪華客船の船室デザインには、中村順平(1877-1977)や村野藤吾(1894-1981)をはじめとする国内の著名な建築家に関わりました。また、京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校の図案科教授をつとめた本野精吾(1882-1944)も、国内を就航するいくつかの客船の船内装飾を設計しました。海上を進む建造物ともいえる船の室内は、地上の建築と同様に、またそれ以上に華やかに、きらびやかにデザインされたのです。

本展では、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が収蔵する建築資料の中から、村野藤吾と本野精吾に関わった「船」にまつわる資料をご紹介します。設計図面やスケッチから、当時の客船の船室にほどこされた豪華な装飾とデザインをお楽しみください。

村野藤吾 あるぜんちな丸

1《734 一等スモーク 正面出入口扉薄肉彫刻及象嵌模様》 AN.4950-84

2《734 一等食堂 天井伏図》 AN.4950-63

3《734 一等食堂 壁付電気時計》 AN.4950-66

村野藤吾 ぶらじる丸

4《735 一等スモークベランダ 天井伏図》 AN.4950-08

5《735 一等ロウンジ 天井伏及蛇腹象嵌模様配置詳細図》 AN.4950-03

本野精吾 橘丸

6《談話室(展望室)》 AN.5343-152

7《食堂 壁面ガラスモザイク(右舷)》 AN.5343-171

本野精吾 出雲丸

8《内観パース A案》 AN.5342-07

表面(左上から)

村野藤吾《ぶらじる丸 一等ロッジ(長崎)》 AN.5305-73

村野藤吾《あるぜんちな丸 一等食堂(長崎)》 AN.5305-77

本野精吾《出雲丸 内観パース A案》 AN.5342-07

本野精吾《橘丸 進水記念文鎮》 AN.5321-02

*すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館収蔵

関連イベント



学生による「ミニコンサート」(ヴァイオリン他)

2025年6月13日(金) 12:30-13:00、16:30-17:00

2025年7月5日(土) 12:30-13:00、16:00-16:30

会場:美術工芸資料館1階ホール

申込不要・参加無料(ただし入館料が別途必要です)

同時開催

「EJ120—ル・コルビュジエの想像力 プロジェクト模型120」
2025年6月16日(月)～7月12日(土)

「鐔・髪飾りのかたちとデザイン—新収蔵品を中心に」
2025年3月3日(月)～7月12日(土)

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分

・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分

・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to “Matsugasaki” Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at “Takano-Izumicho” stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at “Shugakuin” Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

